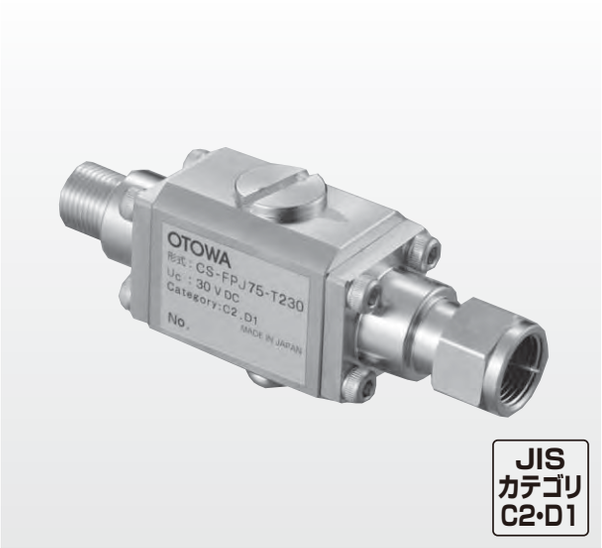
TV同軸ケーブル用SPD

国土交通省 公共建築工事標準仕様書 適合品
国土交通省 建築設備設計基準 適合品
JIS C 5381-21 対応



特　長

1. TVアンテナから侵入する雷サージから機器を保護
2. 地上デジタルテレビ放送・BS放送・CS放送に対応
3. RoHS規制物質対応

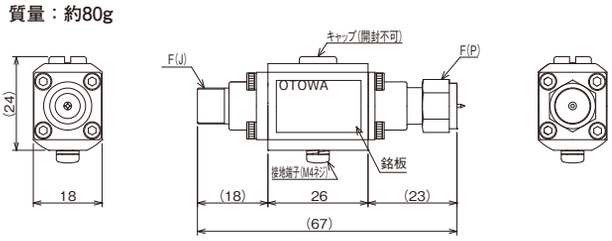
形　式

CS－FPJ75－T230

- インピーダンス：75（75Ω）
- カップリング：P（プラグ）／J（ジャック）
- コネクタ：F（F型）

外形寸法図

質量：約80g



用　途

TV受信機器

付属品

取付金具

特性表

形式	伝送周波数帯域	挿入損失	VSWR	コネクタ	インピーダンス（Ω）	最大許容電力（W）	電圧防護レベル Up	インパルス耐久性 注1）	
								C2（8/20μs）	D1（10/350μs）
CS-FPJ75-T230	DC～2.15GHz	0.5dB以下	1.3以下	F型	75	50	800V以下	20kA	2.5kA
	DC～2.7GHz	0.8dB以下	1.4以下						

注1）IECカテゴリC2、D1に対応。インパルス耐久性 C2：8/20μs 20kA（正負・各5回・計10回）、D1：10/350μs 2.5kA（正負・各1回・計2回）
※使用同軸ケーブルサイズ3C～10C

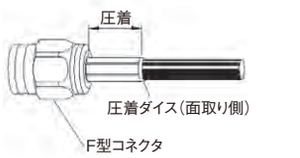
取り扱い

(1) 本SPDのF型コネクタ プラグ（F（P））を受信機器のアンテナ側F型ジャックに接続してください。

(2) **コネクタ接続上の注意事項**

本SPDのF型コネクタジャック（F（J））は、ケーブルの芯線サイズφ0.8mmに適用しています。
下記に注意し接続をお願いします。

1) 本SPDのF型コネクタジャック（F（J））にケーブルを接続する場合、必ず右図のようにケーブルに適用した圧着式コネクタ（ピン付きコネクタ）を使用してください。
2) 一般のF型接栓（簡易ペンチ加工式）を使用し同軸ケーブルの芯線を直接接続しないでください。本SPDのF型コネクタ　ジャック（F（J））の接続部（コンタクト）のサイズと同軸ケーブルの芯線のサイズが合わず（φ0.8mm以外）、接触不良によるノイズや接続部（コンタクト）の破損の原因になります。



3）既存の同軸ケーブルにF型接栓（簡易ペンチ加工式）が加工されている場合、圧着式コネクタに交換してください。

4）本SPDを受信機器に直接接続できない場合、ケーブルに適用した高周波数対応（CS対応）のF型中継コネクタ（F型　J-J右図参照）を使用してください。

F型 J-J 中継コネクタ

5）SPDの固定方法
F型中継コネクタを使用する場合、付属の取付金具で本SPDを固定してください。
・図1 取付金具によるSPD固定方法のように、二つの取付金具を使用します。
・片方の取付金具をM3ネジで固定します。取付金具の角穴にSPDの接地端子ネジが上に向く方向でSPD本体のA部を挿入します。
・もう片方の取付金具も同じくSPD本体のA部に挿入し、M3ネジで固定します。

(3) 同軸ケーブルに圧着コネクタを加工した後、本SPDのF型コネクタ　ジャック(F(J))に同軸ケーブルを接続してください。

(4) 図2 配線方法のように、本SPDの接地端子（M4ネジ）と受信機器のFGを接地線（ビニル絶縁電線3.5～5.5mm²）で接続します。本SPDの接地端子は圧着端子を使用し確実に取り付けてください。接地端子（M4ネジ）の締め付けトルクは1.5N·m～1.6N·mで締め付けてください。

(5) 本SPDの接地端子を接地線（ビニル絶縁電線3.5～5.5mm²）で接地してください。受信機器を収納している盤（架体）内に接地端子がある場合最短で接続してください。

(6) 受信機器の電源側も保護する必要があります。この場合には別売品の電源用SPDを使用してください。

(7) **同軸ケーブルの配線時の注意事項**
同軸ケーブル（特に7C、10C）を配線する時に、本SPDのF型コネクタ プラグ(F(P))、ジャック(F(J))部分でケーブルを曲げたり、ケーブルの自重などの大きな力が加わる場合は必ずケーブルを固定してください。

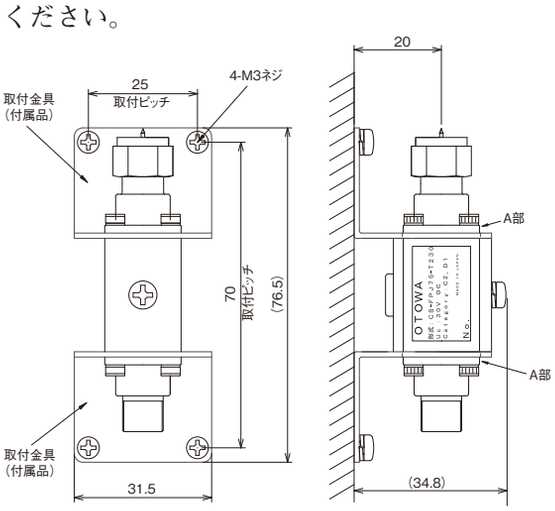


図1　取付金具(付属品)によるSPD固定方法

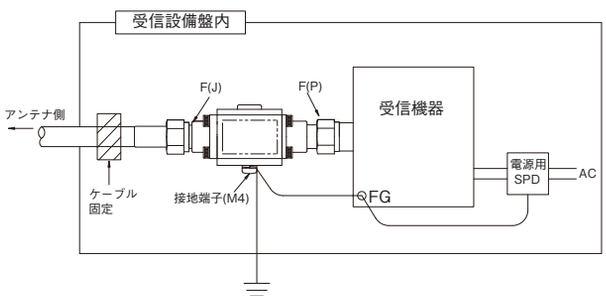


図2　配線方法(直接接続の場合)